

# 予防接種に関する間違いについて

資料2

平成27年4月1日から平成28年3月31日までに発生した間違いについて  
取りまとめた結果は以下のとおり

【参考：平成26年度定期接種延べ接種回数 44,671,245】

間違いの態様	件数	全体割合	10万回あたりの率
1. 接種するワクチンの種類を間違えてしまった。(2.を除く)	142	2.3%	0.32
2. 対象者を誤認して接種してしまった。	487	7.9%	1.09
3. 不必要な接種を行ってしまった。(ただし任意接種だとしても、医学的に妥当な説明と同意に基づくものであれば含めない)	925	15%	2.07
4. 接種間隔を間違えてしまった。	2,991	48.5%	6.70
5. 接種量を間違えてしまった。	105	1.7%	0.24
6. 接種部位・投与方法を間違えてしまった。	37	0.6%	0.08
7. 接種器具の扱いが適切でなかった。(8.を除く)	6	0.1%	0.01
8. 既に他の対象者に使用した針を使う等、接種器具の適切でない取り扱いのうち、血液感染を起こしうるもの。	8	0.1%	0.02
9. 期限の切れたワクチンを使用してしまった。	671	10.88%	1.50
10. 不適切な保管をされていたワクチンを使用してしまった。	1	0.02%	0.002
11. その他(対象年齢前の接種など)	795	12.9%	1.78
合 計	6,168	100%	13.81

## 「8. 既に他の対象者に使用した針を使う等、接種器具の適切でない取り扱いのうち、血液感染を起こしうるもの」の概要

ケース	概要	間違いへの対応
1 (ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合)	ヒブワクチン・肺炎球菌ワクチン・4種混合ワクチンを同時接種する際、ヒブワクチンを接種時に介助していた看護師の手に誤って針を刺したが、針を変えずにそのまま被接種者へ針を刺し、接種した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接種者の血液検査を実施し、陰性。</li> <li>・ 報告時点での被接種者の健康被害等症状なし。</li> </ul>
2 (ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合)	ヒブワクチン・肺炎球菌ワクチン・4種混合ワクチンを同時接種する際、小児の肺炎球菌ワクチンの接種時に、児の腕を固定している医師の指に注射針が触れたが、そのまま接種した。その後医師の指から出血があった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接種医、被接種者の血液検査における感染歴は陰性。</li> <li>・ 被接種者の健康被害等症状無し。</li> </ul>
3 (小児用肺炎球菌)	医師が、小児用肺炎球菌ワクチン接種時に、誤って自分の手指に注射針先端を針刺してしまった後、そのまま同ワクチンを生後3ヶ月の児に接種した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接種医、被接種者への血液検査を実施し、陰性。</li> <li>・ 報告時点での被接種者の健康被害等症状なし。</li> </ul>
4 (日本脳炎)	注射する際、針先が接種医の母指背側に接触したが、そのままの針で接種を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接種医の血液検査を実施し、陰性。</li> <li>・ 報告時点での被接種者の健康被害等症状なし。</li> </ul>

## 「8. 既に他の対象者に使用した針を使う等、接種器具の適切でない取り扱いのうち、血液感染を起こしうるもの」の概要

ケース	概要	間違いへの対応
5 (BCG)	BCGの集団接種において、本接種医の手順として、トレイから針を取り出しキャップを外し、机の上に仮置きし、対象児の腕を両手で固定してから右手で仮置きした針を持ち、接種している。接種後、右手で机の上に残ったキャップに押し込んでおめ、台の下の廃棄物入れに捨てているが、接種後、医師が対象児の対応に気を取られ、使用済みの針を破棄せずに机の上に置いてしまい、対象となる5人のうち、1人に再使用した可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用済みの注射針を使用した可能性のある児に対し、血液検査を実施し、検査結果で異常がない。</li> <li>・ 報告時点での被接種者の健康被害等症状なし。</li> </ul>
6 (ジフテリア破傷風混合)	DTの集団接種において、対象者の本数分の注射器を用意したはずであったが、接種終了後、1本余っており、接種済みの注射器で32人のうち1人の児童に接種してしまった可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象者児童全員に血液検査を実施し、陰性。</li> <li>・ 2ヶ月後以降に、保護者の同意を得て、抗体検査を実施し、抗体価が低い児童には、医師の判断により再接種を実施。</li> <li>・ 報告時点での被接種者の健康被害等症状なし。</li> </ul>
7 (インフルエンザ)	予防接種実施のため、注射針を刺したが、ワクチンが入っていなかったため、再度接種液の入った注射器で予防接種を実施した。ワクチンが入っていなかった注射器が使用済みか否かは不明。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被接種者及び注射器を使用した者への血液検査を複数回実施し、陰性。</li> <li>・ 報告時点での被接種者の健康被害等症状なし。</li> </ul>
8 (インフルエンザ)	使用済みの注射器がリキャップして置いてあったため、薬液の入った準備された注射器と思い込み使用した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接種医の血液検査を実施し、陰性。</li> <li>・ 報告時点での被接種者の健康被害等症状なし。</li> </ul>